

面接対策編 《大学新卒者向け》

◎ 鉄則 「面接委員を知り、面接委員から認められる人物になる。」

1. 誰が担当するか(面接委員を知る)

◎ 所属

- ・ 校長、副校長
- ・ 主幹教諭
- ・ 教育委員会の管理職
- ・ 企業の代表者や人事担当者
- ・ PTA 関係者
- ・ カウンセラー

2. どのように評価するか(評価の方法等を知る)

◎ 評価の方法

- ・ 面接員は、独立して
- ・ 具体的な応答内容に基づき
- ・ 一つの質問の回答から発展
- ・ 評価項目に従って、分析的に
- ・ 評定誤差に配慮

◎ 評価の観点

- ・ 人間性
- ・ 理解力・表現力
- ・ 指導力・実践力
- ・ 教育課題・施策の理解
- ・ 組織貢献力
- ・ 将来性 など
- 総合評価（教員としての適性を総合的に判断する）

2. 面接委員の心の動きを理解する(面接実施時、何を考えているか)

(1) 導入

- 入室
- 着席
- 人定質問
- アイスブレーキング

【面接委員の視点】 身だしなみ、表情、話し方などは、教員に向いているか。コミュニケーション力は高いか。話しやすいか。

質問例 電車の中では何をしてきましたか。朝ご飯は、何を食べてきましたか。

(2) 本人に関すること

【面接委員の視点】 教員になる動機はしっかりしているか。意欲的に教員を続けられるか。子供好きか。教師への使命感をもっているか。有益な経験をしているか。

- 教員を目指す理由

やってみよう① 「教員を目指す理由」で面接委員に何をアピールしますか。

- 履歴、大学や前職等での経験・実績

やってみよう② 今までの経験や実績で最もアピールできることは何ですか。その経験や実績で、教員として有益なことを身につけましたか。

- 子供への指導経験

質問例 教育実習や教育ボランティアなど子供と接する活動で学んだことを教えてください。

(3) 教育論・教育課題等

【面接委員の視点】教育に対する基本的な考え方をしっかりもっているか。常識的か。一貫性があるか。

- 教育の理想（子供・教育・教員）

やってみよう③ 育成する子供像、理想の教育、目指す教員像について整理してください。

理想の子供（育成する子供像）	
結論	理想の子供像を一つ挙げなさい。
理由	なぜその子供像が理想なのですか。

理想の教育（理想の子供を育てるためにやるべき教育）	
結論	理想の子供を育てるためにどのような教育をしますか。
理由	なぜその教育を行うと理想の子供が育つのですか。

理想の教員（理想の教育を行うために必要な教員の資質・能力）	
結論	理想の教育を行うためにどのような資質・能力が必要ですか。
理由	その資質・能力をどのように身に付けますか。

- 教育課題

質問例 あなたが重要であるとする教育課題は何ですか。国の教育基本計画や本県の教育ビジョンで
気になるものはありますか。

(4) 指導方法等

【面接委員の視点】 指導についての基本的な知識をもっているか。具体的な場面に応じた適切な指導ができるか。実践力はあるか。

- 生活指導

【質問例】 あなたが担任する学級で、いじめと思われる状況を発見しました。どのように対応しますか。

- 学習指導

【質問例】 あなたは、わかる・楽しい授業をするために、どのような工夫をしますか。

- 学級経営

【質問例】 学級経営でもっとも大切だと思うことは何ですか。

- 部活動等

【質問例】 あなたが担当できる部活動を教えてください。

(5) 対人対応

【面接委員の視点】 子供から信頼されるか。同僚や保護者と上手に対応できるか。人間関係でトラブルを起こすことはないか。

- 校内教職員

【質問例】 学年主任からの指導に納得できないとき、どうしますか。

- 保護者・地域住民

【質問例】 子供の通知表が正しい評価になっていないと言われた場合、どのように対応しますか。

- 地域住民

【質問例】 学校の生徒がコンビニの前でたむろしていると電話があった場合、どのように対応しますか。

3. 面接委員の心の動きを活用する

(1) 第一印象が重要

【ポイント】人は出会って数秒で相手の印象を決定する。その印象の影響は暫く続く。

【意識すること】

- 第一印象を形作るものは、表情、髪型、服装、姿勢、話し方、声色などの総合評価

やってみよう④ 面接委員に好印象を与えるために、自分の性格等を考慮し、第一印象で何をアピールしますか。

(2) 感謝されよう(返報性の原理)

【ポイント】他人からなにかをもらった場合、お返しをしなければならないという感情を抱くようになる。

【意識すること】

- 学校への貢献を示す
- 学校へ好意的な態度を示す
- 面接委員へ好意的な態度を示す

やってみよう⑤ あなたは、学校への好意的態度や貢献を示すことができますか。

(3) 面接委員に態度を似せよう(態度の類似性)

【ポイント】自分と同じまたは似たような態度を持つ人には好意を感じやすい。

【意識すること】

- 話しのスピードを合わせる
- 声のトーンや話し方などを真似る
- 相手の目を見て話す など

(4) 肯定的な枠をつくろう(フレーミング効果)

【ポイント】同一の選択肢であっても、選択者の心的構成(フレーミング)が異なると、意思決定が異なる。

【意識すること】

- 否定的な発言を前面にださない
- 比較対象を先に示す
- 相手にわかりやすい説明をする

(5) 回答は端的に(マジックナンバー)

【ポイント】人間が短期的に覚えられる事柄の最大数は「4」。そのため、項目を4つ以内に絞って伝えるとよい。

【意識すること】

- 自己PRや長所・短所などを話す際、2つ以内に絞る
- 回答が複数になる場合は、初めに幾つの項目になるか話す

(6) 長い回答は印象が悪い(集中力の持続)

【ポイント】メッセージは短いほどインパクトが強い。自分の考えが伝わる最短の言葉で表現する。

【意識すること】

- まず、結論を 10 秒程度で説明する
- 次に、結論の内容や理由を 20～30 秒程度で説明する
- 時間があれば、どのように実現するか簡単に述べる
- 回答時間は、全体で 30 秒以内を意識する

やってみよう⑥ 「あなたは、子供の思考力を高めるためにどのような教育を行いますか。」と質問されたとき、どのように回答しますか。

結論	子供の思考力を高めるためにどのような教育を行いますか。
理由	なぜ、その教育が思考力を高めることになるのですか。
内容	どのような教育を実践するか、例示でもよいので具体的に説明してください。